

平成27年度全国学力・学習状況調査分析結果

平成28年1月14日
下野市教育委員会

1 はじめに

下野市教育委員会では、平成27年度の全国学力・学習状況調査の概要について、第一段階として、9月1日付けで速報をお知らせしました。

本年度も第二段階として、下野市全体としての結果を分析し、公表いたします。各学校や御家庭におかれましては、この分析結果を今後の学習指導の工夫改善や児童生徒の学習意欲、学習習慣の向上に役立てていただきたいと思います。

2 下野市全体の傾向

(1) 学力調査の結果より

①学力調査について

学 力 調 査		下野市	栃木県 (公)	全国 (公)
調査対象	小学校 1 2 校	※ 585 人	※ 17,422 人	※ 1,061,301 人
人数内訳	中学校 4 校	※ 569 人	※ 17,049 人	※ 1,016,737 人

※国語A・B、算数・数学A・B、理科のうち最も参加人数が多かった数値で示してある。

- A問題(主として「知識」に関する問題)
 - B問題(主として「活用」に関する問題)
 - ◇国語の領域 (小・中) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
 - ◇算数の領域 (小) 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
 - ◇数学の領域 (中) 「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」
 - ◇理科の領域 (小) 「物質」「エネルギー」「生命」「地球」
(中) 「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」「地学的領域」
- *理科はA・B問題を一体的に出題

②全体比較

平成27年度全国学力・学習状況調査(学力調査)結果

下野市と全国平均正答率との比較【H19～27全体比較】

※ H23、24 は抽出調査

◎大きく上回っている (5ポイント以上)

○上回っている (1ポイント以上5ポイント未満)

－同じ (±1ポイント未満)

▽下回っている (1ポイント以上5ポイント未満)

▼大きく下回っている (5ポイント以上)

小学校	H19	H20	H21	H22	H25	H26	H27	中学校	H19	H20	H21	H22	H25	H26	H27
国語A	○	○	○	○	○	▽	▽	国語A	◎	○	○	○	○	○	○
国語B	◎	○	○	－	○	○	－	国語B	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
算数A	○	○	－	○	○	－	－	数学A	◎	◎	◎	◎	○	○	○
算数B	◎	○	－	○	○	○	○	数学B	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
理科	／	／	／	／	／	／	○	理科	／	／	／	／	／	／	○

平成27年度の全国学力・学習状況調査の下野市の結果は、小学校では国語以外の教科で、中学校ではすべての教科で、全国平均正答率を上回る結果となった。

【小学校の全国学力調査全体結果について】

算数A・Bおよび理科ともに、全国平均正答率を上回った。しかしながら、国語A・Bは全国平均正答率を下回った。特に国語Bは平成22年度以来で全国平均正答率を下回る結果となった。

全体的には平成19年度から年々全国平均正答率との差が縮まる傾向が見られており、本年度は特にその傾向が顕著に現れたようである。平成26年度と比較して全教科で全国平均正答率との差が小さくなった。

【中学校の全国学力調査全体結果について】

中学校は平成26年度と同様に、数学Bが全国平均正答率を大きく上回り、国語A・B、数学Aが全国平均正答率を上回る結果となった。理科も全国平均正答率を上回った。

全体的には全国平均正答率を上回ってはいるが、平成26年度と比較すると小学校と同様に全ての教科で全国平均正答率との差が小さくなった。

③領域別比較

全国学力調査結果 下野市と全国平均正答率との比較【H27領域別比較】

◎大きく上回っている（5ポイント以上） ○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
 ー同じ（±1ポイント未満）
 ▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満） ▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校国語	国語A	国語B	中学校国語	国語A	国語B
話すこと・聞くこと	▽	/	話すこと・聞くこと	○	○
書くこと	○	ー	書くこと	◎	○
読むこと	ー	○	読むこと	○	○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	▽	/	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○	/

小学校算数	算数A	算数B	中学校数学	数学A	数学B
数と計算	ー	○	数と式	○	○
量と測定	▽	○	図形	○	◎
図形	○	○	関数	○	○
数量関係	ー	▽	資料の活用	○	◎

小学校理科	理科		中学校理科	理科	
主として「知識」	○	/	主として「知識」	○	/
主として「活用」	○	/	主として「活用」	◎	/
物質	ー	/	物理的領域	◎	/
エネルギー	ー	/	化学的領域	○	/
生命	○	/	生物的領域	○	/
地球	○	/	地学的領域	○	/

【小学校領域別の全国学力調査結果について】

国語のA問題は、「書くこと」で全国平均正答率を2ポイント程度上回った。他の3領域は全国平均正答率を0～2ポイント近く下回った。国語のB問題は、「書くこと」が全国平均正答率を1ポイント近く下回った。「読むこと」は全国平均正答率を1ポイント程度上回った。

算数のA問題は、「数と計算」「図形」で全国平均正答率を0～2ポイント程度上回った。「量と測定」「数量関係」では全国平均正答率を0～2ポイント近く下回った。算数のB問題は、「数量関係」が全国平均正答率を3ポイント近く下回ったが、他の3領域は1～3ポイント程度全国平均正答率を上回った。

理科では、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題ともに、全国平均正答率を2～3ポイント近く上回った。4領域とも0～4ポイント近く上回った。

【中学校領域別の全国学力調査結果について】

国語のA問題は、「書くこと」が全国平均正答率を5ポイント程度上回った。他の3領域は2～5ポイント上回った。B問題は、3領域とも全国平均正答率を1～3ポイント近く上回った。

数学のA問題では4領域とも全国平均正答率を3～5ポイント近く上回った。B問題では、「数と式」「関数」で3～5ポイント近く上回った。「資料の活用」は昨年度に続き5ポイント程度上回り、特に「図形」は、全国平均正答率を7ポイント程度上回った。

理科では、主として「知識」に関する問題は全国の平均正答率を1ポイント程度上回り、主として「活用」に関する問題では5ポイント程度上回った。「物理的領域」で全国平均正答率を6ポイント近く上回り、他の3領域では2～4ポイント近く上回った。

④国語、算数・数学、理科の課題

*各教科ごとに、領域別に見て、全国平均正答率よりも低い結果となった設問について概要をまとめると次のようになる。

国 語

【小学校】

《話すこと・聞くこと》

国語Aの③「話の内容に対する聞き方を工夫する」設問が、1.9ポイント全国平均正答率を下回っていた。話の聞き方の理解に課題がある。

《書くこと》

国語Bの①の二「目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける」設問が、6.7ポイント全国平均正答率を下回っており、見出しの表現の工夫をとらえることに課題がある。同じく①の三の「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く」設問では、2.7ポイント全国平均正答率を下回り、取材した内容をまとめて文章化することに課題がある。

《読むこと》

国語Aの $\boxed{5}$ 「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」設問では、一の問いで4.5ポイント、二の問いで2.0ポイント全国平均正答率を下回っており、さらに、二の問いは17.8%という低い正答率となった。新聞などのコラムを読んで、設問に合った文のまとめ方や言葉を抜き出すことに課題がある。

《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

国語Aの $\boxed{1}$ の二「漢字を書く」の設問1「浴びる」と2「鳥の巣」が、全国平均正答率をそれぞれ、7.8ポイント、6.2ポイント下回っていた。漢字の書きは、昨年度に引き続き、今年度も課題である。さらに、一の3「漢字を読む」の設問で「承知」の読みが全国平均正答率を2.2ポイント下回った。

【中学校】

《話すこと・聞くこと》並びに《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》両領域において大きく全国平均正答率を下回る設問はなかった。国語Bの $\boxed{1}$ の一と国語A $\boxed{9}$ の一の2「漢字を書く」設問でわずかに全国平均正答率を下回った。

算数・数学

【小学校】

《数と計算》

算数Aの $\boxed{1}$ の(2)と(3)の「小数」の設問で全国平均正答率を1～2ポイント程度下回った。ある小数が単位となる小数の幾つ分になるのかや、小数の加法の計算の確かめ方などの理解に課題がある。

《量と測定》

算数Aの $\boxed{4}$ (2)「分度器を用いて 180° よりも大きい角の大きさを求める設問では、全国平均正答率を3.8ポイント下回った。分度器の使い方の理解に課題がある。

算数Bの $\boxed{2}$ (1)「単位量当たりの大きさを用いて代金を求める」設問は、1.4ポイント全国平均正答率を下回った。トマト1つの値段を求め、さらに条件に合うように買い物をするという手順の理解に課題がある。

《図形》

算数Bの $\boxed{1}$ (3)「二通りの道のりが等しくなる根拠を図形を見いだして記述する」設問では、1.7ポイント全国平均正答率を下回った。本設問は、言葉と記号を使って記述する設問であり、正答率が26.0%、無解答率11.8%であった。平行四辺形の2組の辺の長さが等しい性質を、言葉や記号で説明することに課題がある。

《数量関係》

算数Bの $\boxed{2}$ 「割合」の設問では、設問2で全国平均正答率を5.6ポイント下回った。20%増量したものが480 mLであるときの、増量前の量を求める立式とその計算に課題がある。また、3の「割り引き後の値段の求め方の誤りを見だし、正しい求め方と答えを記述」する設問では、全国平均正答率を1.8ポイント下回っており、割合を使った数量関係の活用に課題がある。

【中学校】

《数と式》

数学Aの $\boxed{1}$ (1)「 $12:9$ と等しい比を選ぶ」、 $\boxed{1}$ (2)「 $12 - 2 \times (-6)$ の計算をする」、 $\boxed{2}$ (1)1「 $5x - x$ の計算をする」などの設問で、全国平均正答率

を若干下回る結果となった。基礎的な計算の定着に課題が見られる。

数学Aの[2] (2)「数量の関係を文字式に表すこと」の設問は、全国平均正答率を2.8ポイント上回っているが、正答率が25.0%と低い。また[3] (3)の「連立二元一次方程式を作る」設問でも、全国平均正答率を4.6ポイント上回っているものの、正答率は49.5%であった。文字式を使った立式や計算に課題がある。

《図形》

図形についての設問は全て全国平均正答率を上回っているが、数学Aの[8]「証明の意味の理解」で正答率35.0%、数学Bの[3] (2)「平行四辺形になる条件を用いての説明」の設問で正答率が28.0%、無解答率が41.4%である。知識を根拠として説明することが課題といえる。

《関数》

数学Aの[1][2] (1)「時間と道のりの関係を表すグラフの傾きが速さであることの意味」の問いだけが、全国平均正答率を若干下回った。他の設問は全国平均正答率を上回っていた。その中で、数学Bの[1]「投影距離と投影画面の高さや面積の関係」の設問は、(1)と(2)が正答率35%程度、(3)は15.8%と非常に低い値であった。関数の活用は課題といえる。

《資料の活用》

資料の活用についての設問は、全て全国平均正答率を上回っていた。その中で数学Bの[5] (2)「グラフを基に数学的な表現を用いて理由を説明する」設問が、全国平均正答率を4.9ポイント上回ったものの、正答率は28.2%であり、無解答率が19.5%であった。自分の考えを数学的用語を利用して説明することが課題といえる。

理 科

【小学校】

《物質》

[3] (4)「メスシリンダーの名称」の設問では、全国平均正答率を1.0ポイント下回った。器具の名称（メスシリンダー）の理解に課題がある。

[3] (6)「水溶液の温度を冷やしたときに析出する物質の量」の設問では、全国平均正答率を1.0ポイント下回り、さらに正答率が27.9%であった。現象の理解とともに、グラフから必要な情報を読み取ることに課題がある。

《エネルギー》

「振り子時計に関する問題」の[1] (2)「振り子の運動の規則性」の設問は、全国平均正答率を2.2ポイント下回った。また[1] (3)の振り子時計に「金属の熱膨張」の内容が加わった設問は、全国平均正答率を1.1ポイント下回った。振り子時計の規則性や熱により金属が膨張することの理解に課題がある。

《生命》

生命に関する設問は、全て全国平均正答率を上回った。その中で、[2] (4)「顕微鏡の適切な操作方法」の設問では、全国平均正答率を0.6ポイント上回るにとどまり、正答率も38.5%であった。顕微鏡の操作方法の習得に課題がある。

《地球》

[4] (4)「星座や雲の動き」の設問では、全国平均正答率を若干下回った。観察記録から星座や雲の動きを考察することに課題がある。

【中学校】

《物理的領域》

物理的領域の全ての設問において全国平均正答率を上回った。その中で、**6** (2) 「音の高さに関する実験」の設問では、全国平均正答率を4.9ポイント上回っているが、正答率は34.8%であり、仮説の結果を予想することに課題がある。

《化学的領域》

化学的領域では、**1** (1) 「塩化ナトリウムの化学式を選ぶ」設問では、全国平均正答率を1.2ポイント下回った。化学式の理解に課題がある。

1 (2) 「溶解度の違いで物質を見分ける」設問は、全国平均正答率を2.0ポイント上回っているが、正答率は34.6%であり、溶解度の理解と活用に課題がある。

《生物的領域》

生物的領域では**8** (1) 「背骨のある動物の名称を答える」設問では、全国平均正答率を2.7ポイント下回った。「セキツイ動物」という名称の理解に課題がある。

《地学的領域》

地学領域では、**2** (1) 「天気記号から風力を読み取る」設問で2.2ポイント、**3** (1) 「湿度の読み取り」の設問で0.5ポイント全国平均正答率を下回った。他の設問でも全国平均正答率が50%に満たない設問が多く、天気や空気の性質に関する内容の理解に課題がある。また、**2** (3) の「雲の成因」に関する設問は正答率が26.9%で、全国平均正答率を12.4ポイント上回っているが、課題といえる。

(2) 学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果より

①学習状況調査について

学習状況調査		下野市	栃木県（公）	全国（公）
調査対象	小学校 12校	585人	17,422人	1,061,301人
人数内訳	中学校 4校	568人	17,049人	1,016,737人

質問数	小学校、中学校ともに87問（共通項目）
回答方法 （主に）	4つから選択 1 している（当てはまる） 2 どちらかといえば、している（当てはまる） 3 あまりしていない（どちらかといえば、当てはまらない） 4 全くしていない（当てはまらない）
質問内容	小学校、中学校ともに同じ内容 ○基本的な生活習慣 ○学習時間等 ○国語、算数・数学、理科の学習状況 ○学習に対する関心・意欲・態度 ○学校生活等 ○家庭でのコミュニケーション等 ○自尊意識・将来に関する意識 ○規範意識等 ○地域との関わり・社会に対する興味・関心 等

今年度の学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果は、小学校では87項目中57項目で全国・県平均を上回っていた。中学校では87項目中60項目で全国・県平均を上回っていた。昨年度に比べて多くの項目で上回っていた。

小・中学校とも共通して、「朝食」「起床時間」「やり遂げたときの達成感」「将来の夢・目標」「ニュース番組を見る」「人の気持ちが分かる人間」「授業で考えを発表する機会」「文章を書く」「国語の勉強は大切」「理科の勉強は大切」「理科の授業で考察している」等について、よい傾向が見られた。

②良好な面

学習状況調査の下野市の結果を全国、県と比べて、小学校中学校ともに上回った質問内容は、次のとおりであった。42項目で上回る結果となった。

質問 番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(1)※	朝食を毎日食べていますか	97.9	95.6	95.4	93.5
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.9	91.0	93.9	92.1
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.7	94.5	97.0	94.2
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	95.3	92.9	95.6	93.0
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	88.1	86.5	78.1	71.7
(10)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか ※2時間未満	43.1	40.7	47.4	44.6
(11)※	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか *2時間未満	73.2	69.9	71.4	63.5
(13)※	学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *1時間以上	73.3	62.7	78.5	69.0
(14)※	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *2時間以上	29.1	24.5	55.0	41.7
(15)※	学習塾で勉強していますか	51.1	47.0	63.7	60.9
(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	82.1	79.5	78.7	73.7
(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	98.7	96.6	94.0	83.4
(21)	家で、学校の宿題をしていますか	97.3	96.8	92.3	89.3
(25)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	85.3	80.5	87.5	78.3
(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	50.0	44.8	38.9	32.9
(30)	新聞を読んでいますか	27.1	23.7	28.4	18.8
(31)※	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	88.7	84.3	88.3	83.9
(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	95.2	93.9	97.5	94.9
(38)	5年生(中学1、2年生)までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	87.6	86.7	89.8	85.9
(44)※	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか *難しいと思わない・どちらかといえば思わない	43.3	39.8	46.3	35.6
(45)※	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか *難しいと思わない・どちらかといえば思わない	49.4	44.7	47.9	35.5
(46)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができてい	72.6	66.9	73.2	62.9

	ると思いますか				
(49)	国語の勉強は大切だと思いますか	94.5	92.0	93.2	89.9
(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか	86.6	82.0	81.4	74.3
(53)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	70.8	65.2	71.6	59.2
(54)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	66.3	61.2	65.3	54.0
(56)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	83.3	77.2	77.1	70.6
(57)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	78.8	77.7	82.7	76.4
(68)※	今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。*最後まで解答を書こうと努力した	76.2	73.3	57.4	51.3
(69)	理科の勉強は好きですか	89.9	83.5	69.8	61.9
(70)	理科の勉強は大切だと思いますか	91.3	86.9	75.0	69.3
(71)	理科の授業の内容はよく分かりますか	91.3	87.9	75.0	66.8
(73)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.2	69.3	54.7	46.9
(74)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.6	74.5	63.2	54.3
(75)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	33.7	28.8	29.4	22.9
(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	60.4	54.9	51.2	38.4
(77)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。*月1回以上	93.2	90.0	90.8	83.9
(78)	観察や実験を行うことは好きですか	92.6	90.1	86.1	80.1
(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	84.7	75.3	70.1	55.0
(80)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	86.2	80.4	82.4	67.2
(81)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	74.3	67.1	65.8	55.0
(82)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	81.4	76.1	57.2	51.8

数字は、選択肢1「している」2「どちらかといえば、している」の合計
または、選択肢1「当てはまる」2「どちらかといえば、当てはまる」の合計
※の質問番号は、平成26年度も上回っていた質問

③課題とされる面

学習状況調査の下野市の結果を全国及び県と比べて、小学校と中学校ともに下回った質問内容は、次のとおりであった。

質問番号	質問事項	小学校(%)		中学校(%)	
		市	全国	市	全国
(51)	読書は好きですか	71.7	72.8	67.6	67.9
(67)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.6	83.8	77.3	80.6